

視点

高齢化分に加え 物価・賃金上昇分が必要

今年の骨太方針での最大の課題は、社会保障費の伸びをどうするかである。

これまでは、高齢化に伴う増加に抑えるというところでシーリングがかけられていた。少子化、生活保護、障害者などの予算を削るわけにはいかないから、もっぱら、医療費の削減、主として薬価の切り下げなどで対応してきた。

それでも、これまではデフレ経済で物価も賃金も上がらなかったから、何とかなかった。しかし今や、物価や賃金が上がってきたので、話はまるで違ってくる。

さすがに、今回の同時改定は、診療報酬+0・88%、介護報酬+1・59%となり、24年度はベア2・5%の確保を図った。しかし、今年の春闘の賃上げ水準は5%を超えようとしており、到底足りない。補正が必要という声も上がっている。今後とも賃上げ要請は続くし、円安で物価も上昇傾向だ。診療報酬や介護報酬も物価・賃金の上昇分を反映しなければ、医療崩壊・介護崩壊となりかねない。

一方で政府は、2025年度を目標とするプライマリーバランスの達成は困難なので、新たな財政

再建の目標を設定する必要がある。また、政府はこども未来戦略では、医療・介護制度等の改革を中心に28年度までに1・1兆円の公費を節減するとも言っている。

そのくせ岸田政権は「増税メガネ」批判を受け、6月から一人4万円の定額減税を実施する予定だ。やっていることが、矛盾だらけと言っては語弊があるだろうか？

医療・介護も含めて、社会保障の予算は必要だ。だから、消費税率を10%から12%に上げる必要があると正面から訴えるしかないと思うのだが。

社会保険旬報

目次

No.2928 2024年5月21日

視点

高齢化分に加え物価・賃金上昇分が必要 … 3

座標

出産費用の保険適用へ検討会設置
国立大学病院の4割が赤字に …… 4
日本医学会連合が遠隔医療で提言
政策決定へデータ・統計の整備求める …… 5

論評

高齢者救急の検討①
一入院経路別の分析 松田晋哉 …… 6

レコーダ

日本健康会議がフォーラム
マイナ保険証利用促進へ
医療機関や保険者が宣言 …… 14

特別レポート

「病院経営分析のリアル」～初めての
データ活用でここまでできた
ある医事課長の奮闘記～前編 …… 18

全世代型社会保障への道筋⑪

子ども・子育て支援の財源論
山崎泰彦 …… 20

随想一視診・聴診

働き方改革も
高山哲夫 …… 21

潮流

認知症患者は2040年に584万人 …… 22
ヘルスケア産業PFがシンポ …… 24
選定療養適用の長期品リストを発表 …… 26
6年度前期納付金等決定額を発表 …… 27
特定健診・保健指導実施率は向上 …… 28
2033年の世帯人員は平均1.99人 …… 29

NEWS

日医会長が出産費用の保険適用の
検討会設置で見解 ほか …… 30

BOOK REVIEW

『戦後の社会福祉論争』 …… 31

資料

厚労省がマイナ保険証の
利用促進へ取組み強化 …… 39

経済スコープ …… 41

編集室・ワードカプセル …… 42